

GPIFのESG投資開始による市場活発化に期待

<GPIFがESG投資を開始>

7月3日、年金積立金管理運用独立行政法人（以下GPIF）は、ESG投資による日本株運用の開始を公表しました。

ESG投資は、投資家が投資銘柄を選ぶ際に、企業の「環境」、「社会」、「企業統治」の3つのESG課題への取り組み姿勢を評価し、それを長期的な視点で運用に取り入れるというものです。

今回GPIFは、既存の国内株運用からの組み替えも含め、国内株式運用資産残高（2016年度末）の約3%にあたる1兆円をESG投資に振り向けています。

<3指数をESG指数として採用>

GPIFは、今回ESG投資を開始するに当たり、3つのESG指数「FTSE Blossom Japan Index」、「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」、「MSCI 日本株女性活躍指数」を選定し、パッシブ運用を行うとしています。

<ESG投資による企業価値向上を目指す>

GPIFは、世界の責任投資市場（ESG投資、およびSRI投資）が21兆米ドルを超える中、日本企業のESGへの取り組みに対し、国内外の評価引き上げを図ることが長期的な企業価値の向上をもたらす、年金運用の改善につながると考えています。

このため、巨大投資家である自身がESG投資に乗り出し、運用委託先の運用機関のESG投資の拡大を図るとともに、投資先である日本企業のESGへの取り組み積極化や、開示の改善を促そうとしています。

GPIFは、日本株との区別はないとして外国株式についてもESG投資を検討するほか、新たなESG指数の採用や、アクティブ運用等の検討により、日本株運用の約1割、3兆円程度を目安にESG投資を拡大させる意向をもっています。欧米に比べ遅れていた日本でのESG投資の活発化が期待されます。

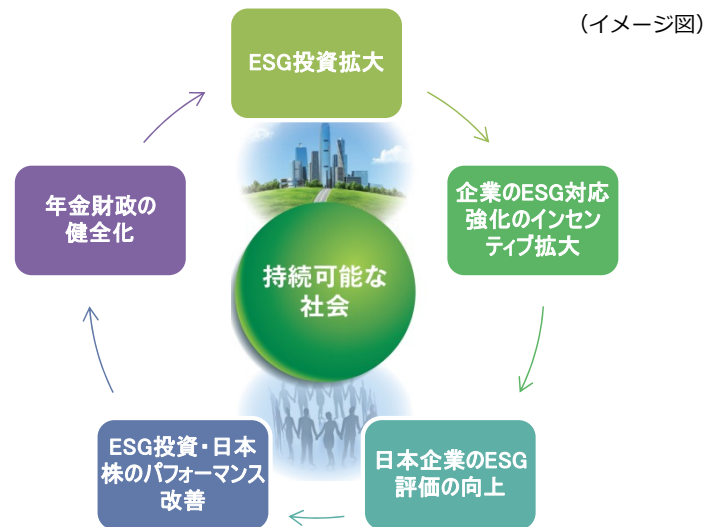
今回の採用ESG指数

E Environmental (環境)	総合型指数		テーマ指数	
	FTSE Blossom Japan	MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ	継続審査中	MSCI日本株女性活躍
S Social (社会)			該当なし	
G Governance (企業統治)				

GPIFの国内株式におけるマネージャー・ストラクチャー

運用タイプ	時価総額	運用指針
パッシブ運用	時価総額	TOPIX、JPX日経400、MSCI Japan Standard、Russell/Nomura Prime
	ESG	FTSE Blossom Japan、MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ、MSCI日本株女性活躍
	スマートベータ	野村RAFI、S&P GIVI ジャパン
アクティブ運用		

ESG投資拡大がもたらす好循環



(出所) GPIF資料をもとに大和住銀投信投資顧問作成

ESG投資についての詳しい解説はこちらから

だいわすみぎん ESG投資

検索



■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会